

市政ニュース

昭和 46 年 2 月 1 日 255号
毎月 1 日 15 日 発行 一部 3 円
発行所 五所川原市役所

津軽の創造を目ざして

五所川原市長 佐々木栄造



(佐々木市長)

心構えによって異なる感懐で迎えられたに違いありませんが、農業王国を自認する津軽はいずこも閑静な朝ぼらけであったと思いますそれは現実を支える条件があまりにもさびし過ぎるからであります。

すこやかな年のはじめを市民の皆さまとともに心から寿ぎたいと存じます。人間と自然の調和を図り、人間性豊かな経済社会を目ざして、

重の命題 遂行をタ イトルに して始ま った千九 百七十年 代もいよ によ第二 年目に入 りました 元旦の 朝は、人 それぞれ のおかれ た地域と

世界の奇跡とさわがれたわが国経済の超高度成長のおかげで、農業の比較生産性が年毎に低下してきただけでなく、その主軸である米は価格すえ置きはおろか、もう要らないとさえ言われては肩を落さないわけにはいきません。工業の占める割合の少ない津軽としては、この不利益をどういふ形で挽回するかが大きな問題であります。

農業王国津軽の斜陽はわが国産業構造が生産性上昇率の高い工業部門を軸として次第に高度化してきたのに対し旧態依然としてあまり進展をみなかったことにあります。それはまた表日本と裏日本、太平洋側と日本海側という地理的観念のもとで進められた経済政策の所産でもありました。産業立地の不均衡は昭和三十年代前半の経済自立期にはじまり、後半の高度成長期においてますますその格差が開いてきたのであります。それに至る二十年代の経済復興期においては、当時の国策であった食糧の増産、地下資源開発という任務を表日本裏日本とも対策に、果して力関係は何らの差もみられなかったはずであります。

しかし、私どもはあえて悲観するにあたらなと思いません。こんにちの繁栄を自負する太平洋側は、工業立地の過密によって、大気汚染・水質汚濁がもはや限度をこえ、人の住む場所

第2回県下風絵展示会

◇とき 2月19日～21日
◇ところ マルキ
主催 五所川原市 五所川原商工会議所

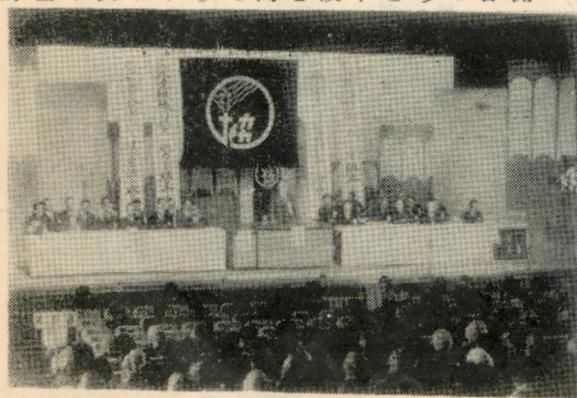
第2回県下風あげ大会

◇とき 2月21日(日)9時
◇ところ 松島団地
◇種目 小学生 仙花1枚
中学生 仙花2枚
高校生以上 仙花4枚以上
◇賞 最優秀1名 優秀4名
全員に参加賞をあげます
◇参加料 不要です
◇申込み 当日受け付けます
主催 五所川原市 五所川原商工会議所

良質米づくりを積極的

農業危機突破五所川原市農協 大会が開かれました

市農協と農政連市分会主催の、農業危機突破大会は一月二十七日、市民文化会館で、組合員約八百人が参加して開かれました。大会は、開米市農協組合長のあいさつ、佐々木市長らの激励のことば、県農協中央会草創農政部長が「米をめぐる農政問題」と題して記念講演のあと、議事に入り、良質米づくりを積極的に行うこと、やりんごの品種更新を計画的



(りんごの品種更新も計画的に…)

はなくなりつつあります。それに比較しますと、わが津軽は開発の可能性を無限にもつ未来地域であります。しかも冬は白銀に、夏は緑に色どられた清浄無垢の地域であり、どのような理想、社会の青写真も可能であります。

新しい津軽の創造は、自然的・経済的きびしさに耐えぬいてきたわれわれ津軽に住む人々の手によってなされなければなりません。理想社会選択の自由は、

に実行すること、また、出稼ぎと公害のない健全生活を取り戻すことなどを決議しました。

市立七和高等学校は

こんなにすばらしい学校です

市立七和高等学校では、昭和四十六年度の生徒募集を次のように行ないますので、多数応募してください

◇募集人員

普通科男女 四十人
家政科 女子四十人

◇願書受付

三月十二日～二十日

◇学力検査

三月二十三日 九時

◇検査科目

国語・社会・数学・理科・英語

◇合格発表

三月二十五日 十時

◇七和高校の七つの特色

一、七和高校は公立で昼間に学習する普通高校ですが、農繁期に休校し家事手伝いをさせるため、その分として一年長くなるので定時制になっています。
二、しかし、学校で学習

するのは三年間で終わり最後の一年はほとんど出校せず家庭で学習したりトラクター・スピードスプレーヤー・普通乗用車・自動二輪車などの免許や編物教師の免状取得・食物被服などの家庭科技術検定の上級免許取得のための諸講座などで実力を養成できるよう考慮し計画または実施しています。また、農閑期には、北海道や先進地の農業を研究や学習するために農業委託実習などを計画または実施しています。

三、学費は、他の公立高校に比べて非常に安く、月額三百円の授業料など一切ふくめて月額九百円位です。

四、普通科の授業面ではテープレコーダー・スライド・ビデオコーダー・16ミリ映写機などの視聴覚教材・器具を利用して学習の

近代化を図り、楽しく学習できるように計画または実施しています。

五、家政科の普通科目をできるだけ少なくし、食物被服・手芸・育児・家庭経営など家庭科目を多くしています。

六、家政科の学習は実習に重点をおき、卒業までに和裁・洋裁・料理・手芸・

松小・羽小・毘小が優勝しました

家庭教育学級のレク大会がおわかりました

編物など高度の技術を修得し、諸種の免許などを取得できるように計画または実施しています。

七、現在計画している諸免許は、編物教師免状・着付け講師免許・調理師免状(検定中)・保育免状(同一・二級などです)。



(準備運動のラジオ体操)

運動不足になりがちな冬のお母さん方の体育づくりのため、市教育委員会が主催した、第一回家庭教育学級レク大会は一月九日、第一中学校で行なわれましたが、卓球は松島小、排球は羽野木沢小、綱引きは毘沙門小が優勝しました。

はたらくことの意味を考え、仕事をとおして、世の中に役立つ人になります

市主催の、

第四回お手伝い少年を励ます会は、一月二十四日、市民文化会館で行ないました。佐々木市長、小野教育委員長、永井教育長の励ましのことばのあと、佐々木市長からの記念品や、人形劇に大喜びでした。

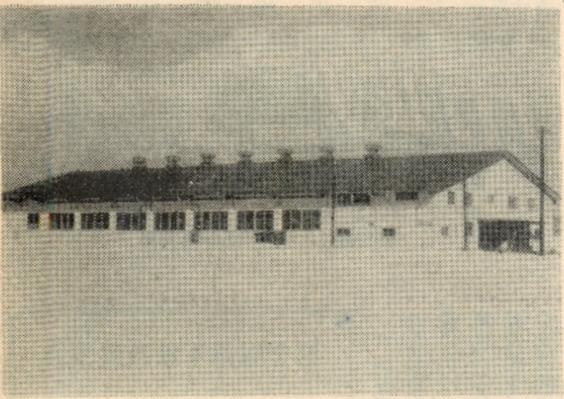


(そば・ジュース・稲荷寿司に舌づつみ)

市有施設紙上見学会

③ 学校給食センター

市内の十八の小学校児童



と七の中学校の生徒、合わせて約九千人の完全給食を実施するため、松島団地内の第一中学校々庭東隣りに昭和四十三年八月に完工したものです。

敷地面積二千八百平方メートル、建設工事費七千四百五十二万円で、五台の配達専用車もあり、木村誠一所長以下三十一人の職員が真白な白衣を身につけておもしろいお昼をつくっています。

働く青少年の生活文を募集しています

労働省では例年、働く青少年の生活文を募集してきましたが今年も次により募集していますので、どしどし応募してください。

◇目的

働く青少年に、働く生活の実情、働く生活を通じての感想や考え方を、生活文として発表する機会を与えることにより、その生活への自覚を促し、より健全な歩みの契機とすると共に使用者及び社会一般の認識と理解を深め、働く青少年の保護と福祉の向上に役立っています。

◇内容

働く生活の実情や、働く生活の体験を通じて感想や考えなどを作文か詩に書いてください。題名は自由ですが、なるべく次の内容のうちから選んでください。

- 一、私の生きがい
- 二、私の余暇生活
- 三、その他、就職後の私

の歩み、離転職の体験故郷を離れて働く生活など

作品は一人一篇とし、未発表の自作に限ります。

◇種目と枚数

作文・四千字詰六枚以内
詩・同三枚以内
枚数をこえたものは失格です

◇応募資格

昭和二十六年四月一日以降に生まれた、職場で働くか、家業・家事などに従事している青少年

◇作品に付記する事項

- 一、応募種目
- 二、氏名(ふりがな)性別・生年月日・住所
- 三、仕事の種類
- 四、勤務先の名称・所在地・産業の種類及び労働者数(家業に従事している人はその内容)

◇締めきり日

二月二十五日

◇作品の送り先

青森市中央三丁目二十番十一号、青森婦人少年室
なお、応募原稿はお返しいたしかねます

農業振興地域整備

計画の縦覧をしてください

市農業振興地域整備計画につきましては、先般、部落の説明会などを通じて充分協議しましたが、国有林及び都市計画法による用途地域を除く農業振興地域内の、農用地利用計画の原案が決定しましたので、二月十五日から二十七日までの間に、市農林課で全員縦覧してください。

なお、この原案に対して異議のあるときは、縦覧満三日の翌日から十五日以内に、市農林課に申し出てください。

このことは、すでに回覧板で連絡しましたが、改めてお知らせします。

耕地事業の希望団体

は申請書を出してください

昭和四十六年度に耕地事業の実施を希望する団体は

らんぶる	134,000円	五所川原印刷	3,000
川村産婦人科	100,000	敷島町、葛西穂	3,000
白生会胃腸病院	100,000	阿部接骨院	2,780
ロータリークラブ	97,440	田町、成田淳子	2,400
千鳥舞踊会	50,605	鎌谷町	2,000
日本舞踊一二三会	50,000	第一千鳥町	2,000
東北電労分会	45,533	さつき町	2,000
茶道夷千家支部	28,485	柏原町	2,000
市青年団協議会	28,436	錦町	2,000
ライオンズクラブ	27,100	日蓮宗県社会教化事業協会	2,000
新生互助会	15,000		2,000
寺町岩木町	11,800	飯詰、島谷百合子	2,000
第一中学校	10,700	布屋町、沢田哲美・光子	2,000
五所川原甚句保存会	7,330	岩木町、葛西進一	1,700
五所川原郵便局	5,000	匿名	1,019
下平井町、高橋きせ	5,000	平井町	1,000
泉谷正志市議	5,000	元町	1,000
市婦人連絡協議会	5,000	下平井町	1,000
青森民友	4,350	田町、高橋マサエ	1,000
トヨタ自動車	4,200	野里、土岐義範	1,000
西北中央病院	3,898	市役所ここだけの会	1,000
末広新宮町	3,000	市役所とさご会	1,000
本町	3,000	南小学校4年1組	800
中平井町	3,000	南小学校、工藤孝子	600
第二柳町	3,000	東雲町	300
布屋町	3,000	柏原町、小野キョウ子	衣類89点
上平井町	3,000	中三	衣類 27点
川端町	3,000	東雲町	衣類 3捆
新町	3,000	現金合計	801,476円

二月二十八日までに、事業計画申請書に見取図と会議録を添えて、市農林課へ出してください。用紙は同課にあります。

対象事業は、農道施設事業(補修・新設・改良・護岸・橋梁・暗きよ・その他)と、かんがい施設事業(頭首工・溜池・分水工・水門・掛樋・用排水路新設と改良)とその他の事業です

工事の指名願いを

出してください
昭和四十六年度に市で発注する、土木・建築工事の指名を受けようとする業者は、建設省の指定する様式に従って、二月二十七日(土)正午まで、市建設課庶務係へ出してください。

市役所で人事異動を行ないました

佐々木市長は、広域医療センターづくり積極的に取り組むため、市広域医療委員会の設置を主とした人事異動を、一月十六日付で次のように行ないました。

広域医療委員会事務局局長 兼高等看護学院事務管理者 佐藤正雄(市立病院事務局長兼管理課長)、市立病院事務局長 心得金苞孝(同業務課長兼庶務係長)、同管理課長 兼庶務係長 鈴木昭夫(同医事課長)、同医事課長 心得渋谷照雄(保険衛生課長補佐)、保険衛生課長 補佐 石岡広(税務課市民税係長)、市民税係長 川本哲之(同庶務係主任)。

広域医療委員会広域医療係長 阿部昭雄(企画総務課庶務係長)、企画総務課長 補佐 兼庶務係長 島田克孝(税務課長補佐)、税務課長 補佐 岡田晴正(高等看護学院事務管理者)、高等看護学院主事 高橋つが(保険衛生課主事)、市立病院雇中 村健(市中央公民館)。

就学通知書が届いていますか

今年四月に小学校に就学する児童は、昭和三十九年四月二日から翌四十年四月一日までの出生児で、市内で約九百人あります。市教育委員会では、昨年十一月十五日現在で対象児名簿を作製し就学通知書を送りました。

入学式は、市内各小学校とも四月七日(水)午前九時からですが、就学児童の健康診断は、一月二十日から二十九日まで、それぞれの小学校で行ないました。例年、いろいろな事情で通知書が届かないこともあるようです。もし、まだ届いていないときは、市教育委員会にご連絡ください。

傷害特約付簡易保険におはいりください

大正五年に国営事業としてはじめられた郵便局の簡易保険は、昨年七月十五日に契約高九兆円に達してから、わずか五か月足らずの十二月十五日には、ついに十兆円の大台を突破し、保有契約数も四千四百万件資金総額二兆三千億円というマンモス企業になっています。

簡易保険が最近このように伸びているのは、国民所得の増加による生活水準の向上もさることながら、最近の交通事故をはじめとする災害の多発の時代に反映して、国民の生命保険に対する関心が高まり、特にまた傷害特約付簡易保険があるのも大きな原因とされます。

郵便局では、明るい生活の設計・簡易保険新加入運動を一月から三月まで実施しています。この簡易保険の資金は、国・県・市などに貸出され、道路・住宅・学校などの建設整備に使用され、明るく住みよい町づくりに大きく貢献しています。

郵便局の簡易保険新加入運動にどうぞご協力願います。

家計簿の体験談を募集しています

貯蓄増強中央委員会と都道府県貯蓄推進委員会は、NHKの後援を得て、第十七回「わが家の家計簿」体験談を募集しています。

家計簿記帳の普及ぶりは著しいものがありますが記帳経験の永い人は単純な記帳では満足できず、いろいろな工夫をして明日の生活設計のため役立てているようです。あなたの貴重な体験を文章にまとめて、新しく家計簿をつけようとしている人や記帳方法の改善に苦心している人々の参考にしてあげてください。

今回も昨年十二月一日から二月末日までを募集期間

として体験談を募集しています。多数の市民が応募するのを期待しています。なお、応募についての詳しいことは、市商工観光課商工係にお問い合わせください



たこ足配線は危険です

昨年の八戸市内の、ある火事は「たこ足配線の過熱が原因」と新聞が報じていました。皆さんの家庭でも電気器具をたこ足配線で使っていますか。

電気は無理がききますのでソケットやコードが熱くなったからといって直ちに火災の原因になるといわれませんが、無理を過ぎると火災になるおそれが多分にありますから、電気の使用に見合った設備をすることがぜひ必要なことです。

四十万円以上

贈与税がかかります

昨年一年間に貰った土地家屋や有価証券など財産の価額が四十万円を超えると贈与税がかかります。また財産の合計額が四十万円以下でも、同じ人から前年または前々年に二十万円を超える財産を貰ったときにも

贈与税がかかります

贈与税は、親と子や夫と妻などの親族の間で行なわれることが多いので忘れがちですが、贈与税の申告と納税は二月一日から三月十五日までです。

所得税の確定申告をしてください

所得税は、一年間の所得と税額とを納税者自身が計算して確定申告をし納税することをたてまえとしており、その期間は二月十六日から三月十五日までとなっています。

商工業や農業などの事業所得者や医師・弁護士などの自由業の人のほか給与所得者でも、給与以外に五万円以上の所得のある人や税金の還付を受けることのできる人も確定申告が必要です。

確定申告書を提出した人は、個人事業税や住民税の申告書を提出する必要はありません。

登山計画書をお出しください

本格的な雪が積もり、冬山の季節ですが、県遭難防止対策協議会は、冬山遭難事故防止対策の一環として入山の実態を把握するとともに、入山者に対する指導助言をし、無理な登山計画を未然にチェックするため今冬から入山者に登山計画書を提出してもらうことになりました。

この計画書提出対象の県内の山は八甲田山と岩木山ですが、岩木山の場合の用紙の備付・提出場所は、弘前警察署・同百沢派出所・弘前営林署百沢担当区・岩木山神社社務所・岩木町町営国民宿舎・岳ホテルです。八甲田山の場合は、青森警察署・青森駅前派出所・雲谷スカイランドホテル・八甲田ロープウェイ・城ヶ倉荘・酸ヶ湯温泉です。

成人病予防週間

日本国民死亡者総数の54%は成人病です

